

尾道糸崎港港湾脱炭素化推進協議会（第2回）の開催結果について

1 要旨・目的

尾道糸崎港における港湾脱炭素化推進計画の策定に向けて、有識者、関係企業、関係団体、関係行政機関で構成する「尾道糸崎港港湾脱炭素化推進協議会（第2回）」を10月3日に開催したので、その結果を報告する。

2 現状・背景

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、国際物流の結節点かつ産業拠点となる港湾において、

- ① 水素・燃料アンモニア等の大量・安定・安価な輸入や貯蔵等を可能とする受入環境の整備
- ② 脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化
- ③ 集積する臨海部産業との連携等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルポート（以下、「CNP」という。）の形成

を推進するため、令和5年度に広島港及び福山港、令和6年度に尾道糸崎港において、「港湾脱炭素化推進協議会」を立ち上げ、CNPの形成に向けて取り組んでいる。

3 概要

(1) 実施主体

広島県

(2) 開催日時

令和7年10月3日（金）15：00～

(3) 場所

三原市総合保健福祉センター（サン・シープラザ）（三原市城町一丁目2－1）

※WEB 併用

(4) 実施内容

ア 議事

- （ア）アンケート・ヒアリング調査結果について
- （イ）尾道糸崎港港湾脱炭素化推進計画（素案）について
- （ウ）今後の予定について
- （エ）意見交換

イ 構成員等からの主な意見

- （ア）国が松永港区で実施している航路・泊地の浚渫の事業を記載すれば、糸崎・尾道・松永港区それぞれの取組が反映された尾道糸崎港らしい計画になると考えられるので、記載について検討していただきたい。
- （イ）公共ターミナルを出入りする船舶・車両の取組について、引き続き企業と調整し、記載を具体化することが望ましい。

ウ 構成員等

別紙のとおり

エ その他

- (ア) 協議会の議事概要は、県ホームページにおいて公開している。
(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/103/cnp-keikaku.html>)
- (イ) 開催状況



協議会の開催状況

4 今後のスケジュール（予定）

- 令和8年2月：協議会（第3回）開催
令和8年3月：計画策定・公表

尾道系崎港港湾脱炭素化推進協議会 名簿

(順不同)

役割	区分	企業名等
構成員	有識者	国立大学法人広島大学
	関係企業	尾道造船株式会社
		三菱重工業株式会社三原製作所
		メキシケムジャパン株式会社
		株式会社ひろしま港湾管理センター
	関係団体	中国地方港運協会尾三支部
		公益社団法人広島県トラック協会
		広島県旅客船協会
	関係行政機関	国土交通省中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所
		広島県土木建築局
		三原市建設部
		尾道市産業部
		福山市建設局
オブザーバー	関係行政機関	経済産業省中国経済産業局
		国土交通省中国運輸局
		環境省中国四国地方環境事務所
		広島県環境県民局
		広島県商工労働局
		三原市生活環境部
		尾道市市民生活部
		福山市経済環境局